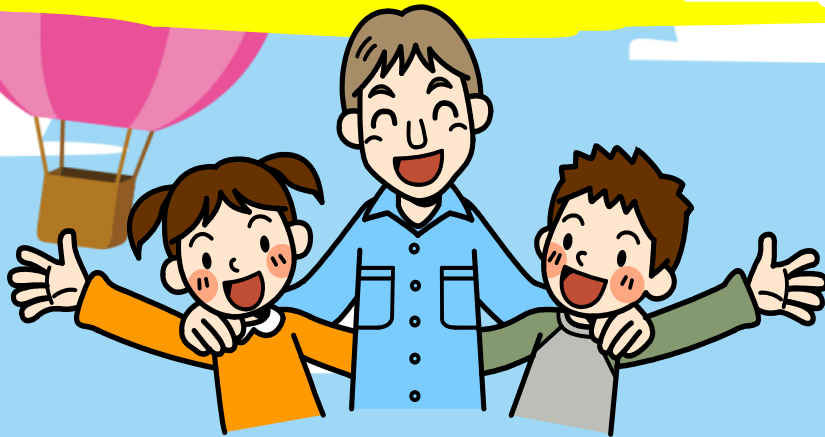


小学校
義務教育学校

高学年一部教科担任制

【手引き】

令和5年1月改訂



教科担任制導入の趣旨・目的

😊 教科指導の専門性を持った教師が、質の高い指導を行うことが可能となる。児童の学習内容の理解が深まり、定着度の向上や学びの高度化につながる。

教員の指導力・児童の学力向上

😊 小・中学校間の連携による小学校から中学校への円滑な接続（中1ギャップの解消等）につながる。

中1ギャップ対策

😊 複数の教師（学級担任・専科教員）による多面的な児童理解を通じた児童の心の安定につながる。

多面的な指導・児童理解

😊 教師の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により、学校の教育活動の充実や教師の負担軽減につながる。

教員の働き方改革



宮崎県教育庁 義務教育課

国の動向

中央教育審議会（答申）「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～より

義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方

〔高学年からの教科担任制の導入〕

- ・ 義務教育9年間を見通した教育課程を支える指導体制の構築が必要である。
- ・ 各教科等の学習が高度化する高学年では、小学校における学習指導の特長を生かしながら、系統的な指導による中学校への円滑な接続を図ることが求められる。
- ・ 教科指導の専門性を持った教師によるきめ細かな指導を可能とする教科担任制の導入により、授業の質の向上を図り、児童一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図ることが重要である。
- ・ 小学校における教科担任制の導入は、教師の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により、学校教育活動の充実や教師の負担軽減に資するものである。



令和4年（2022）年度を目途に本格的に導入

本県の取組

高学年一部教科担任制モデル校・推進校の取組

令和2年度モデル校
19校



令和3年度モデル校
34校



令和4年度推進校
43校

- ・ 高学年一部教科担任制の本格導入（令和4年度）に向け、令和2年度からモデル校を指定し、加配を配置してその取組について研究を進めてきた。
※導入の年である令和4年度からは、モデル校から推進校へと名称を改めた。
- ・ モデル校の取組を広く周知するため、令和2年度には「高学年一部教科担任制の手引き」を作成し、令和3年度には「小学校高学年における一部教科担任制の推進に係るオンラインフォーラム」を開催した。

取組から見えてきた成果と課題

成果

- 複数の教師で児童を見ることができ、生徒指導上の効果がある。
- 時間的・精神的に高学年担任の負担軽減につながっている。
- 一部の教科に絞って教材研究等をすすめることで授業力の向上につながる。
- 情報交換の機会が増え、人材育成にもつながる。

課題

- 時間割作成に苦勞する。
※奇数の学級数になると難しい。
- 教師が、複数の学級で授業を行うなどに、これまでにないシステムに慣れるのに時間がかかる。
- 複数の学年にまたがって教科を受けもつと、教材研究が大変になる。

小学校で考えられる教科担任制の種類

完全教科担任制

中・高と同じ指導。 ☆発達の段階や指導体制に留意。

特定教科の専科指導

理科、音楽、体育など専科教員による指導。 ☆多くの学校で導入。

学級担任間の授業交換

学級担任間で特定の教科を授業交換して指導。 ☆本リーフレットで実践紹介。

学級担任との教科のT・T指導

学級担任と専科教員にT・T指導。 ☆算数や外国語などで導入。

導入に向けて

次のようなことに留意して導入しましょう。

学校の状況に応じた教科選択を

【学級数】

1学年に複数の学級がある場合

1学年が単学級の場合

【担当者】

得意な教科を持つ担当者がある場合

専門免許を持つ担当者がある場合

専科教員がいる場合

学級数や担当者など学校の状況によって、実施方法が異なります。また、教科選択において、それぞれの担当者の負担に差が生じないように、週当たりの授業時数を考える必要もあります。

指導の充実に向けて

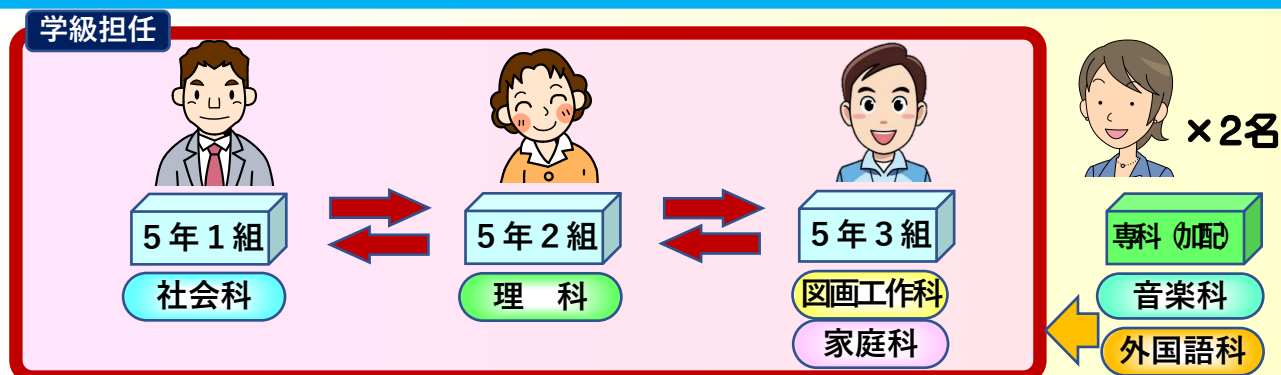
学年部会を定期的に行い、情報を共有することで学習指導、生徒指導が充実します。また、年度当初に単元の指導計画を作成すると、活動の見通しをもつことができます。

円滑な実施のために

一部教科担任制を実施している学年だけではなく、全職員が実施状況を理解しておく必要があります。また、保護者や地域にも周知を行い、実施について理解をしてもらう必要があります。

一つの学年での実践例

【 5 学年 3 学級の場合 】



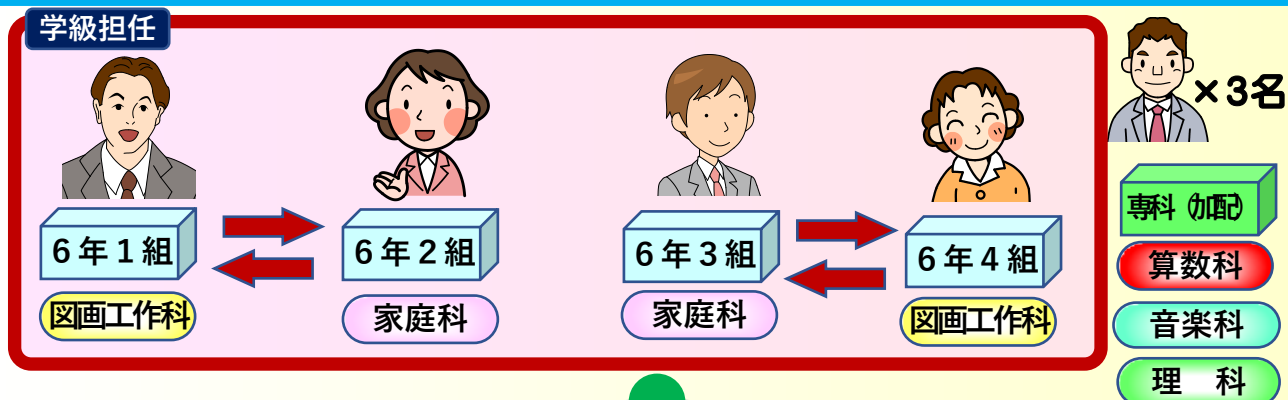
時数…○ 社会科…週3時間程度、理科…週3時間
図画工作科・家庭科…週3時間程度
音楽科…週1～2時間、外国語科…週2時間

概要…○ 特定の教科をそれぞれの学級担任で分担して、交換授業を行う。受け持つ教科の時数は、ほぼ同じである。

メリット…○ 同じ授業を複数回行うことで、教員自身の専門性の向上につながる。また、学習規律など学年で統一した指導が可能となる。

Point

【 6 学年 4 学級の場合 】



時数…○ 図画工作科…週1～2時間、家庭科…週1～2時間
算数科…週5時間、音楽科…週1～2時間、理科…週3時間

概要…○ 隣接する学級同士で交換授業を行い、算数、音楽、理科を専科教員が指導する。学期毎に交換授業を行う学級を入れ替える方法もある。

メリット…○ 交換授業の時点では、時数はこれまでとほぼ変わらないが、専科教員が複数入ることによって、担任が指導する教科が減り、空き時間が増える。

Point

一つの学年での実践例

【 6 学年 2 学級の場合 】



Point

- 時数**…○ 社会科…週3時間程度
○ 外国語科・総合的な学習の時間…週2時間
- 概要**…○ 学級担任の交換授業に加えて、中学校の教員が特定の教科を担当する。
- メリット**…○ 児童にとっては中学校の専門的な授業を受けることで、中学校の学習へのスムーズな移行が期待できる。

【 5 学年 2 学級の場合 】

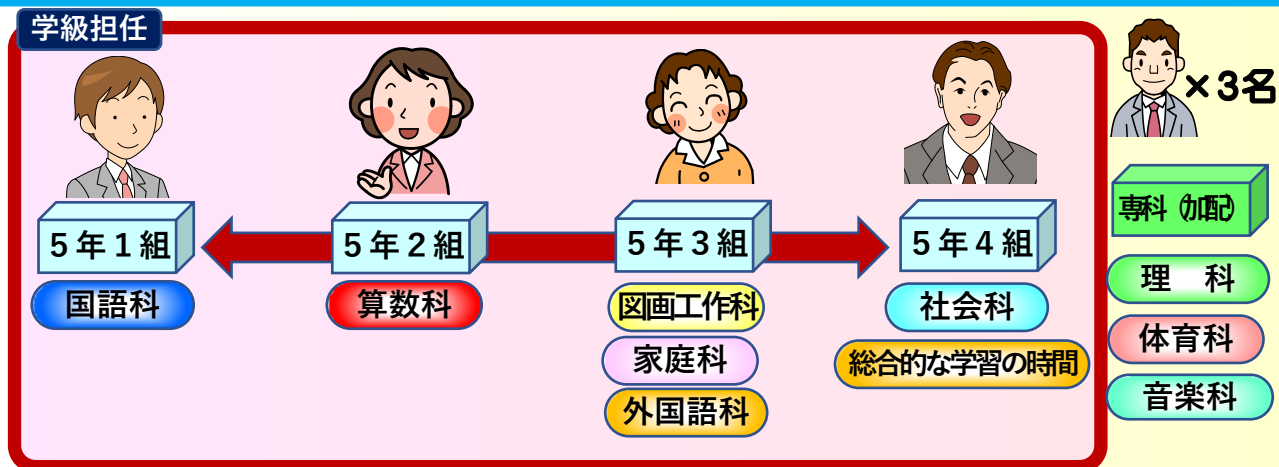


Point

- 時数**…○ 社会科…週3時間、理科…週3時間
- 概要**…○ 隣接の学級同士で交換授業を行う。
音楽科は専科教員が指導する。
- メリット**…○ 互いの学級を指導するため、教員にとっても学年全員の児童を把握することができる。専科も含め、交換授業を実施することで、2教科分の教材研究の時間を軽減することができる。

一つの学年での実践例

【 5 学年 4 学級の場合 】



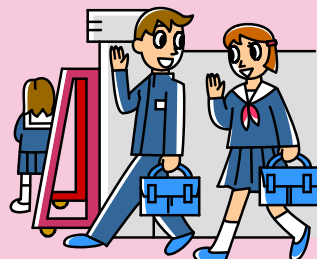
Point

- 時 数**…○ 国語科… 週5時間、算数科…週5時間
図画工作科・家庭科・外国語科…週5時間程度
社会科・総合的な学習の時間…週5時間程度
- 概 要**…○ 学級担任は、担当教科を週5時間程度×4学級分担当し、自分の学級の道徳、特別活動を担当する。自分の学級で授業を行うのは、週7時間程度となる。
- メリット**…○ 教師が指導する教科が少なく済むため、教材研究にかかる時間が短くて済む。また、同じ授業を複数回行うことができ、指導の改善を図ることができる。

中学校への円滑な接続に向けて

大規模校においては、学級数が多く、専科を担当している職員も複数名在籍していることから、多くの教科で交換授業、専科指導を行うことが可能です。そうすることで、より中学校の教科担任制に近いものになっていきます。児童にとっては、学級担任以外の職員と接する時間が長くなり、中学校進学時の不安解消にもつながることが期待できます。

また、指導内容についても小・中学校で情報共有を行うことで学びの連続性を確保することができます。



二つの学年での実践例

【 5 学年 1 学級、6 学年 1 学級の場合 】

学級担任



5 年 1 組

社会科



6 年 1 組

音楽科

図画工作科



専科 (加配)

理科

時 数 …○ 社会科…5年:週3時間程度、6年:週3時間 計6時間程度
 音楽科…5年:週1~2時間、6年:週1~2時間
 図画工作科…5年:週1~2時間、6年:週1~2時間 計5~6時間
 理科…週3時間

概 要 …○ 5年担任と6年担任が学年をまたいで教科を担当する。

メリット …○ 2学年にまたがった教科担任による指導は、系統性をもとに、見通しをもった学習指導を展開することができる。また、それぞれの得意教科を生かした交換授業を行うこともできる。

Point

【 5 学年 2 学級、6 学年 2 学級の場合 】

学級担任



5 年 1 組

算数科



5 年 2 組

社会科

家庭科



6 年 1 組

国語科



6 年 2 組

図画工作科

体育科



×2名

専科 (加配)

外国語科

理科

時 数 …○ 国語科、算数科…5時間×4学級
 社会科・家庭科…4~5時間程度×4学級
 図画工作科・体育科…4時間程度×4学級
 外国語科…週2時間×4学級、理科…週3時間×4学級

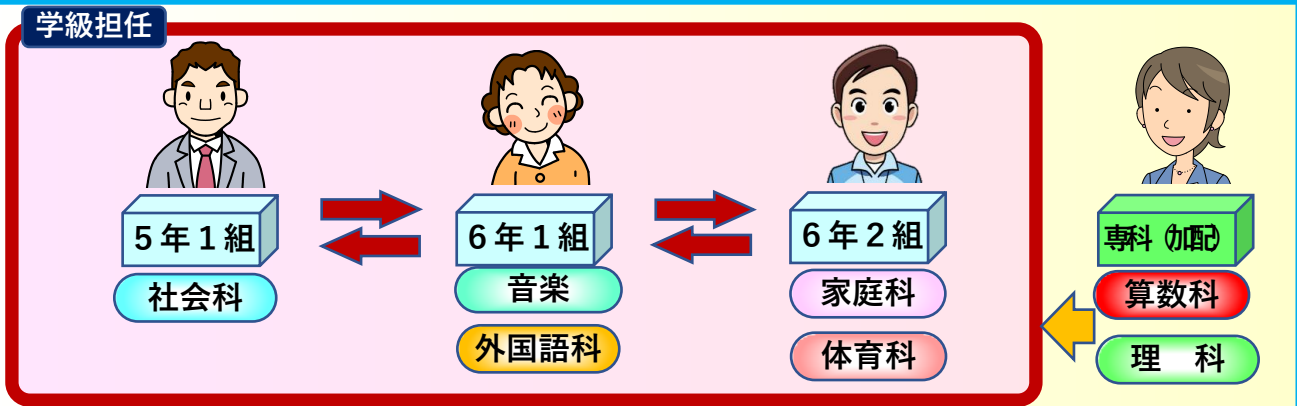
概 要 …○ 専科（加配）を含めた6人の教員で2学年4学級を担当する。

メリット …○ 複数の教員が指導することで、様々な角度から児童を見つめることができ、児童一人一人のよさを引き出しやすくなる。また、教科の系統性を意識した指導が可能となる。

Point

二つの学年での実践例

【 5 学年 1 学級、 6 学年 2 学級の場合 】

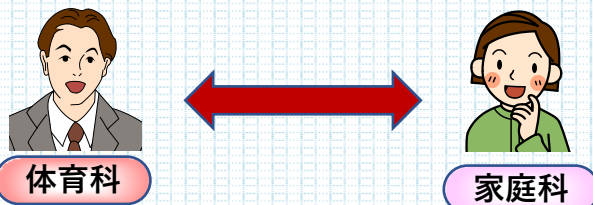


Point

- 時数**…○ 社会科…5年:週3時間、6年:週3時間
 音楽科・外国語科…5年:週3~4時間、6年:週3~4時間
 家庭科・体育科…5年:週4時間程度、6年:週4時間程度
 算数科…5・6年:週5時間
 理科…5・6年:週3時間
- 概要**…○ 学年をまたいで交換授業を行う。学年によって標準時数が異なる。教科担当によっても受け持ち時数が異なる。
- メリット**…○ 異なる学年の複数の職員が交換授業を行うことで、時間割の調整等が大変になるが、高学年部として学年部で統一した指導が可能となり、生徒指導上の効果が期待できる。

その他の実践例

通年ではなく、単元の内容を見て交換授業を行う場合



通年で交換授業を行っていない教科に関しても、単元の内容を見て時期的に交換授業を行うことができます。専門(得意)とする教科等を生かして、効果的な運用を行ってください。

ここからは、高学年一部教科担任制を行う際の疑問について、各校の実践を参考にしながらお答えします！



高学年一部教科担任制を始めるためにはどんなことが必要ですか？

モデル校・推進校の実践から

近隣で実践している学校の情報を収集したり、校内で推進委員会を開いたりするなど、指導に向けた体制整備を進めました。体制を整えるためには、職員間での共通理解が必要です。



児童と向き合う時間は増えますか？

モデル校・推進校の実践から

専科指導や専科（加配）教員の配置により、学級担任に週あたり4～8時間程度の空き時間を生み出すなど、工夫により児童と向き合う時間が増加しています。教科等の組合せにより、さらにゆとりが生まれます。



担当学年のみを一年間指導しますか？

モデル校・推進校の実践から

指導教諭を加配教員として配置し、1学期は6学年、2学期は5学年というように、学期ごとに一部教科担任制として指導する学年を変えるなど、それぞれの学年の学力が向上するような取組を行っています。





学力向上につながる工夫はありますか？

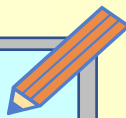


モデル校・推進校の実践から

得意教科をもつ教諭が5学年・6学年の全ての学級で指導が行えるように時間割を工夫し、学力向上を目指した指導を充実させるとともに、系統性を生かした実践が行えるよう工夫しています。



単式学級等の学校でも実施が可能ですか？



モデル校・推進校の実践から

単式学級ですが5学年、6学年で交換授業を行っており、系統的な指導ができるように工夫しています。お互いの得意教科を生かし、単式学級等でも指導が可能です。



高学年一部教科担任制を行う上で困ったことがありますか？



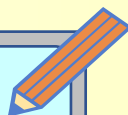
モデル校・推進校の実践から

慣れるまでに時間がかかりました。これまでは、全ての教科を指導していた担任が、一部の教科を指導していないことで、児童の様子を見ない時間が生まれ不安を感じました。また、通知表の作成の仕方や、時間割の作成など、はじめは戸惑いましたが、年数を重ねることで、不安も解消されました。今では、児童にとっても当たり前の取組になっています。





時間割作成の工夫にはどのようなものがありますか？



モデル校・推進校の実践から

高学年一部教科担任制を導入している多くの学校が、時間割作成に苦労すると言います。私たちの学校では以下のように時間割作成の工夫をしました。

1 基本時間割の作成

基本時間割を作成し、基本的にはその時間割どおりに時間割を組むようにしました。また、教師の動きが把握できるようなシートも作成しました。

基本時間割A

	月						火						水						木						金						授業時数	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
5の1担任 国・算・家庭	国			算		6の1 家庭	算	体		国	総合	総合	算	国			道		算	国	体		6の2 家庭	5の1 家庭	国	算			学		19	
6の1担任 国・算・国工	国	(算)			5の1 国工	5の1 国工	国	体	(算)	総合	総合	国			体	(算)	国		(算)	学	6の1 国工	6の1 国工	(算)	国	道		6の2 国工	6の2 国工	17(22)			
6の2担任 国・算・音楽	国	道	(算)		6の1 音楽	6の2 音楽	(算)	体	国	総合	総合	国			(算)	体	(算)	(算)	国	学	5の1 音楽	6の2 音楽		国	(算)		5の1 音楽	6の1 音楽	17(22)			
専科1 理科	5の1	6の1	6の1				6の2	4の1	4の1	(専)	(専)	4の2	5の1	5の1				6の1	4の2	4の2				4の1	6の2	6の2				15(17)		
教科担 社会・算少	6の1	6の2	算数	6の2	社会		6の2	算数	6の1	社会	6の1	算数	(専)	(専)	6の1	社会	6の2	算数	6の2	算数	6の2	社会	6の1	社会	6の1	算数	5の1	社会	6の1	社会	19(21)	
専科2 外国語	4の2	5の1	6の2									6の2	6の1	4の1										3の1	3の2	6の1	5の1			18(20)		
教科時数 国語5 社会3 算数5 理科3 音楽2 国工2 家庭1 体育2 外国語2 総合的な学習の時間2 道徳1 学活1 計29																																
()の時間は必要に応じて入る。																																

- 交換授業をする教科や、専科教員が受けもつ教科を決定します。
- 学級担任が朝の児童の様子を把握できるよう、1校時目は交換授業を入れないように配置します。

2 計画的な時間割の調整

担当やスケジュールを決めて、計画的に時間割の調整を行っています。

内容	担当	期日	備考
① 週計画の作成・配付	教務主任	前週の 水曜日まで	
② 高学年の時間割の確認・変更	教科担任制 加配教員	前週の 金曜日まで	<ul style="list-style-type: none"> 週案を確認し、時間割(に行事等の変更を加える。 出張等があれば、事前に授業の入替を行う。 学年部研修会(高学年部)のレジュメ作成
③ 単元名・準備物の記入	各教科担当	火曜日まで	<ul style="list-style-type: none"> 自分が担当する教科について、時間割に単元名や準備物を記入する。
④ 学年部研修会(高学年)	高学年 チーム	火曜日	
⑤ 2週分の時間割完成 → 児童に配付			



高学年一部教科担任制の成果

モデル校・推進校の実践から、高学年一部教科担任制の成果として次のことが挙げられます。

● 教科や指導方法など、職員間の意見交換の機会が増加した。OJTにもつながった。

● 担当する教科について、専門性が向上した。

● 教材研究をする教科の減少で、時間的なゆとりが生まれ、児童と向き合う時間が増加した。

● 多くの教員の目で児童を見ることができ、生徒指導の組織的な対応が図られるようになった。

● 教師が、他の学級の児童ともコミュニケーションを図ることができ、その結果、児童が担任以外の教師にも相談できるようになった。

高学年一部教科担任制を実施することで、学習指導だけでなく、生徒指導も充実することが、実践している多くの学校から報告されています。

また、本県において、加配教員や専科教員がいない学校においても、交換授業を行っている学校が多く見られるようになりました。

各学校の実態に合った指導体制を整えていくことが大切になります。



学校の組織マネジメントにより、高学年の一部教科担任制の実施は可能です。モデル校の取組を参考にして、各学校でも導入を検討していきましょう。



【問合せ】 宮崎県教育庁 義務教育課
義務教育・学力向上第一担当

TEL : 0985-26-7239

FAX : 0985-32-4476

gimukyoiku@pref.miyazaki.lg.jp